

会 議 録

| | | | |
|--------------------|-----|---|------------|
| 会議名 (付属機関等名) | | 川西市図書館協議会 | |
| 事務局(担当課) | | 教育推進部 中央図書館(内線4581) | |
| 開催日時 | | 平成31年2月20日(水)15時00分~16時30分 | |
| 開催場所 | | 中央図書館 視聴覚室 | |
| 出席者 | 委員 | 小林文恵委員、井上智美委員、森野雄二郎委員、田中里香委員、 上田章子委員、中村康子委員、仲井徳委員、八田勇委員 | |
| | 事務局 | 村山中央図書館長、藤本館長補佐 | |
| 傍聴の可否 | | 可 | 傍聴者数 0人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | | 1.開会 2.報告事項 (1)平成30年度下半期の事業報告について 3.協議事項 (1)図書館システムの更新について 4.その他 (1)平成31年度の展望 (2)図書館協議会員公募について 5.閉会 | |
| 会議結果 | | 別紙のとおり | |

審 議 経 過

平成30年度第2回川西市図書館協議会

1. 開会

事務局進行

2. 報告事項

(1) 平成30年度下半期について

事務局より、別添資料にもとづき報告の後、意見交換と質疑応答が行われた。

質問・意見等(要旨)

委員：書架整理ボランティアの活動状況はどうか。

事務局：毎回4～5人のボランティアが参加している。一般書の配架・整理はボランティアの方々に8割程度できている。作業に終始するだけでなく、ボランティア同士の交流が生じているのは良い傾向であると思う。

委員：書架整理ボランティアについて市広報誌等でアピールしてはどうか。

事務局：広報担当との調整がつけば、掲載していきたい。

委員：教育福祉施設向け図書リサイクル展の譲渡対象はどのような基準で選ばれているのか。留守家庭の子どもたちを支援している団体などはどうか。

事務局：今年度は公共の教育・福祉施設のみ。来年度以降は、より広く教育や福祉に関する活動をしている団体にも広報していく。

委員：いしいしんじさんの作品展示について報告に含まれていない。

事務局：報告事項から漏れていた。同展示は新聞にも掲載されていた。

3. 協議事項

(1) 図書館システムの更新について

事務局より、図書館システムの更新について、今後のスケジュールと新システムの変更点につき説明する。その後、意見交換と質疑応答が行われた。

(事務局説明)

図書館システムの更新作業は当初、平成31年2月に行う予定であったが、大阪府北部地震とそれによる改修工事の影響により平成32年2月に実施することとなった。新システムの変更点として、クラウド型を導入すること、利用者端末にレシートプリンターを付設し、

利用者に貸出情報を提供すること、 インターネット情報検索端末を増設すること、 マイナンバーカードを利用した図書貸出や電子図書館への対応ができるよう準備している。

質問・意見等(要旨)

委員：個人の読書記録が提供されることは良いことである。どのような形で提供するのか。出力された読書記録を貼る通帳を図書館が作製し、有料で提供してはどうか。

委員：個人の読書量によって通帳はすぐにいっぱいになってしまうのではないか。

事務局：利用者開放端末にプリンターを設置し、貸出情報と本の所在をプリントアウトできるようにする。印刷台紙は、シールタイプを選択することができるが、高額になる。シールではなく、自分で読書記録を貼ってもらうように考えている。具体的な仕様や通帳については、今後詰めていく。

委員：読書記録は恒久的に残すのか。

事務局：現行システムでは返却されれば、読書記録が残らないようになっている。個人情報の取扱やコンピュータが保持できるデータ量に上限があるので、今後、検討が必要と考える。

委員：システムの更新に伴って、図書館カードも変わるのか。

事務局：図書館カードの仕様は変わらない。

委員：電子図書館ではどのような情報を提供していくのか。

事務局：協議会で視察を行った三田市立図書館を先行事例として、市販の電子図書の提供とデジタル化した郷土資料を提供していきたい。

委員：電子図書館の導入に向けて人材の確保・養成が必要である。

4. その他

(1) 平成31年度の展望について

事務局より、来年度の展望として、図書館システムの更新、トイレの改修、児童コーナーの書架増設、人員削減を受けての図書館サービスの維持、近隣自治体や市内の団体、ボランティアとの協働による事業の実施について報告する。その後、委員からの意見・提案を受ける。

意見・提案等(要旨)

委員：キセラに新設される病院との連携を考えてはどうか。

委員：病院には患者のための本が必要である。新病院に協力してほしい。

委員：キセラの病院の中に図書コーナーを作るのは難しいと思われる。情報提供などによる連携を考えてはどうか。

委員：移動図書館の復活を考えてはどうか。

事務局：利用者の減少や住民のライフスタイルが変わってきたことなどから、移動図書館は平成20年度末に廃止した。現時点では、高齢者に対するサービスとして意義あることと考える。

委員：自治会や留守家庭子ども支援グループなどにもリサイクル図書を譲渡してほしい。

事務局：今後、譲渡先を広げていく。

委員：図書館は指定管理者制度を導入せざるをえないのではないかと。図書館に民間の知恵を活用してほしい。

委員：豊能町立図書館では喫茶コーナーができた。参考にしてほしい。

委員：絵本コーナーで本が探しにくい。いい方法はないのか。

事務局：中央図書館では絵の著者の五十音順に絵本を並べている。シリーズ物が揃うなどの利点があるが、絵本のタイトルで探す子どもたちにとっては探しづらい。タイトル順や出版社ごとに固めるなどの方法もあるが、わかりやすく探しやすい方法を考えていきたい。

(2) 図書館協議会委員の公募について

事務局より、来年度実施する図書館協議会委員の公募について、概要とスケジュールを報告する。

5. 閉会

以上

資料については、市政情報コーナーに設置しています。